

デザイン道場から生まれたデザイナー集団

「D×K」、「Iroyori」の活躍

～若手チームによる ものづくり&デザイン・プロデュース～

担当課室：クリエイティブ産業ユニット

近畿経済産業局は、若手デザイナーとものづくり企業等を対象とした、デザイン・知財マネジメント講座「デザイン道場」を平成20年度から実施し、これまで200名以上の修了生を輩出してきました。彼らの中には、展示会を企画したり、チームを組んでデザイン・プロデュース活動を継続する者などが出てきており、その取組に広がりが見られます。今月号では、2つのチーム「D×K（ディーバイケー）」、「Iroyori（イロヨリ）」の取組をご紹介します。

■D×K（ディーバイケー）

「D×K」は、平成22年度のデザイン道場修了生が自主企画した展示会（平成23年秋）から生まれた現在14人の若手デザイナーによるデザインプロデュース集団です。

ものづくり企業とコラボレーションを行い、既に、注染手拭いの傘や様々な用途に使えるカラーシリコンリングなどを、ネットショップや大手生活雑貨店・百貨店の催事で販売した実績があります。

「D×K」が最近特に力を入れているのは、23年秋の展示会で四国の木材企業と出会ったことからスタートしたプロジェクトです。

二度の工場見学で、木材企業の、山と共に生き、木を知り尽くしたものづくりに触れた「D×K」は、それを世に広めるため「トサノキ」ブランドを誕生させました。「トサノキ」ブランドでは、①高知産の木材、主に間伐材を使用する、②可能な限り自然由来の材料・成分を使う、③デザイン性と機能性を兼ね備えたアイテム、④現代の生活様式に沿ったデザイン、をテーマに製品を作っています。24年秋の展示会では、猫関連グッズをトータルプロデュースし、展示ブースのデザインも行いました。この時に発表した新商品は、その後ペットショップでテスト販売され、今夏には通販カタログに掲載予定です。今後も彼らの活躍から目が離せません。

「D×K」では、これまでは主にプロダクトデザイン専門のメンバーが個々に製品提案を行ってきましたが、今後は複数のメンバーが協力して一つの製品をブラッシュアップさせていきたいと意気込んでいます。

「トサノキ」商品の一例



引き出しの組み合わせにより
猫の表情が変わる収納箱

D×K（ディーバイケー） <http://tosanoki.com/>

メンバー：小松有紀、石橋智香、上田大介、内田未来、大野典子、神田猛史、北中敦、皿田亮朋、TOTONOETE、中島真範、中田哲、西野祥平、堀寛子、嶋崎依里
関西で活動するデザインプロデュース集団。メンバーはインテリア、プロダクト、テキスタイル、グラフィック、ウェブなど多様なデザイン分野にわたり、全員が企業やフリーランスで働くプロのデザイナーで構成されている。目的やプロジェクトに合わせて人や技術を集め、デザインという手段を使って問題解決に取り組む。